

令和6年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	熊野町立熊野第四小学校	校長	中川 隆	生徒指導主事	寺西 学
取組事例名	『縦割り班活動』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
<ul style="list-style-type: none"> 異学年集団活動を通してともに解決したり、思いや考えを伝え合ったりして、自分や仲間の思いを知り、学校生活を明るく楽しいものにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> めあてについて、自分を見つめ振り返り、どうしたらより良くできるようになるか考え、チャレンジできる児童。 (低学年) 友達と仲良くし、助け合うことができる。 (中学年) 相手のことを思いやり、進んで行動することができる。 (高学年) 相手の立場や気持ちになって自ら行動することで、自己の成長を実感することができる。



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
<p>1 全校遠足・一年生を迎える会</p> 	<p>児童にめあてをもたせるために</p> <ul style="list-style-type: none"> 一年生を迎える会に主体的に関与させるために、その内容やプレゼント等を各クラスで話し合い、代表委員会で提案するようにした。
<p>2 掃除（無言掃除、振り返り）</p> 	<p>児童の意欲を高めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度の「熊高生と遊ぼう」は、学級ごとの遊びだったが、本年度は、縦割り班での活動に替え、高学年に遊びの内容を考えさせるようにした。
<p>3 「熊高生と遊ぼう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊野高校の生徒 30～40 名と、昼休憩に活動（学期 2 回程度） 本年度は、外遊び以外にも本校 3 年生と高校生の「キッズゲルニカプロジェクト」の一環として、全校でしおり作りも行った。 その他、文化祭に招待してもらった学年や、交通安全の表示を作った学年もある。 	<p>児童の頑張りを認め、価値付けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> 5 月と 12 月の生活目標「無言掃除をしよう」の内容と、美化委員会の「無言掃除キャンペーン」と結び付けた。 生活目標に対する各クラスの具体的な目標も廊下に掲示することで意識を高めた。掃除の様子を美化委員会の児童が巡回して表彰したり、生徒指導主事も掃除中に称賛したりする放送を行った。 毎週金曜日には、縦割り班で振り返りの時間を設定し、次週へのめあてをたてている。



3 成果と課題

<p>○特に無言掃除については、上記のような取組を行ったことで、昨年度末の児童アンケート「無言掃除をすることができた」の肯定的割合 84%から 90.8%に増えた。「学校で仲間と力を合わせることができた」は、昨年度 91%から 92.8%に増えた。</p> <p>●「熊高生と遊ぼう」では、児童・生徒の振り返りで「もっと多く、もっと長く遊びたい。」とある。本年度当初は月に一回行う予定だったが、両校の日程や行事等の都合で学期に 2 回、15 分間ずつしか行えなかった。毎月行ったり、活動時間を延ばせたりするように連携していきたい。</p>
